

健康経営の目的・課題

目的

- ・ 社員が最高のパフォーマンスを発揮できる環境作り
- ・ 社員の肉体的健康、精神的健康の維持

課題

- ・ 健康診断結果の有所見者数増加
- ・ 健康に関する興味、関心
- ・ 生活習慣の改善意識

健康経営推進体制

健康経営責任者（代表取締役社長）

安全衛生委員会

健康経営担当

- ・ 衛生管理者
- ・ 健康経営アドバイザー
- ・ 健康づくり担当者

協会けんぽ
産業医

連携・助言

連携・助言

社員

健康経営の目標値・取組

最終的な 目標指標 (KGI)	アブセンティーズム 【病欠・病気休業一人当たりの 平均日数3日以下】		プレゼンティーズム 【ストレスチェック健康リスク値 100以下】	ワークライフバランス 【仕事と私生活が充実している と感じる従業員50%以上】
重点目標	肉体的健康維持 メタボ率【10%以下】 高血圧率【30%以下】 睡眠時間確保【40%以上】		精神的健康維持 有給取得実績【10日以上】 平均所定外労働時間実績【6時間以下】 育休取得率【50%以上】	
取組事項 取組施策	健康増進 ・ 毎朝全社員対象のラジオ体操の実施 ・ 毎月の健康情報提供 ・ 社員安全衛生教育実施	健康管理 ・ 定期健康診断実施 ・ 特定保健指導対象者への受診促進 ・ インフルエンザ予防接種推進 ・ 健康意識調査アンケート ・ ストレスチェック実施	労働時間管理 ・ 有給休暇取得の促進 ・ 時間外労働の抑制、制限 ・ 毎月の安全衛生会議による実態把握 ・ 有給5日の確実な取得のための管理	
	メンタルヘルス ・ 全社員対象のストレスチェック ・ 毎月のメンタルヘルス通信共有 ・ 社員間コミュニケーション補助費制度	環境整備 ・ 男性育休取得促進 ・ 子育て休暇制度 ・ 配偶者出産休暇7日間 ・ 健康増進のためのウェルネス休暇制度 ・ 不妊治療による有給休暇制度 ・ 時間単位の有給取得	対外発信 ・ 定期的にHP、SNSによる発信 ・ ながのけん社員応援企業サイトに掲載 ・ 企業交流会での取組事項共有	

健康経営戦略マップ

健康投資

定期健康診断
特定保健指導
健康意識調査アンケート
ストレスチェック
社員間コミュニケーション補助費制度
健康増進のためのウェルネス休暇制度
生活習慣に関するセミナー
時間外労働の抑制、制限
有給・育休取得の促進

健康投資の効果

健康投資施策の取組み 状況に関する指標	従業員等の意識変容・ 行動変容に関する指標	健康関連の最終的な 目標指標
健診実施率	再検査対象者数	メタボ率
特定保健指導実施率	制度・施策満足度	高血圧率
アンケート回収率	睡眠の質向上	睡眠時間確保
ストレスチェック実施率	朝食欠食率	有給取得実績
制度利用状況	運動習慣のある社員比率	平均所定労働時間実績
時間外労働時間状況	高ストレス者の割合	育休取得率

健康風土の醸成

健康経営の浸透状況	方針実現のための体制・環境	サポート、組織的支援（POS）、WSC等
健康経営施策認知度	健康経営優良法人認定	ストレスチェック

目標年：2026年

KGI	健康経営 の目標	健康経営の推 進方針	経営方針
「仕事と私生活が充実していると 感じる従業員50%以上」 ワークライフバランス 「ストレスチェック健康リスク値100以下」 プレゼンティズム 「病欠・病気休業一人当たりの平均日数3日以下」 アンセンテイズム	社員の肉体的、精神的健康維持	社員が最高のパフォーマンスを発揮できる環境作りを実施。	お客様に心から感動して頂くことを最高のよろこびとする。

従業員の健康課題

- 健康診断結果の有所見者数増加
- 健康に関する興味、関心
- 生活習慣の改善意識

最終的な目標指標・重点目標に対する結果

最終的な 目標指標 (KGI)		単位	2021	2022	2023	2024	目標値	達成	検証方法
	アブセンティーズム	日	—	—	—	1.75	3	○	アンケート
	プレゼンティーイズム	—	92	96	96	94	100	○	ストレス チェック
	ワークライフバランス	%	—	—	—	60	50	○	アンケート

重点目標		単位	2021	2022	2023	2024	目標値	達成	検証方法
	有給取得実績	日	9.75	9.26	10.39	11.24	10	○	実績値
	平均所定外労働時間	時間	11	10	7	4	6	○	実績値
	育児休業取得率	%	33	33	50	100	50	○	実績値
	メタボ率	%	13.3	10	10.8	15.1	10	×	健診結果
	高血圧率	%	29.3	33.7	28.9	34.9	30	×	健診結果
	睡眠時間確保	%	—	—	—	44.6	40	×	アンケート

効果検証	・ 最終的な目標指標である「アブセンティーズム」「プレゼンティーイズム」「ワークライフバランス」の目標値が達成できたことは大きな成果だったと感じる。 ・ 労働時間管理、環境整備に注力した結果、有給取得実績、平均所定外労働時間、育児休業取得率の改善に大きく寄与した。 ・ ラジオ体操実施率、健康診断受診率、ストレスチェック受診率がすべて100%であり、健康経営への参加状況は良好だったと言える。 ・ 改善傾向であったメタボ率、高血圧率が上昇した。生活習慣病対策の必要性を感じた。
------	--